

学会録事

1. 2008年度日本藻類学会第3回持ち回り評議員会報告

2008年12月12日～22日の期間に第3回持ち回り評議員会を開催し、下記の案件について審議した(国内評議員16名中7名から回答)。

海産外来種を扱う学会横断的な連絡協議会への参加について

海産外来生物の研究協力と、外来種データベース構築の基礎となる研究者のネットワークを作るための連絡協議会を日本プランクトン学会、日本ベントス学会ほかとの連携で作る構想があり、これに学会として参加する。以上が提案され、審議の結果了承された。

2. 日本藻類学会研究奨励賞推薦委員会委員選挙の結果

日本藻類学会研究奨励賞推薦委員会委員選挙(任期:2009年1月1日～2010年12月31日)を2008年11月25日から2008年12月11日にかけて実施した。2008年12月12日、北海道大学大学院理学研究院において、阿部剛史会員の立ち会いのもと開票を行った。当選者の承諾を得て、以下の5名の委員が決定した。また、規定により、最多得票者である川井浩史氏が委員長に選出された。

川井浩史(神戸大学)委員長、井上勲(筑波大学)、前川行幸(三重大学)、川口栄男(九州大学)、宮下英明(京都大学)(敬称略、順不同)

3. 自然史学会連合

2008年度自然史学会連合総会(2008年12月13日:国立科学博物館資料館)が開催された。

1-1. 2007年度事業報告(事務局:原田):講演会(11/25, 滋賀県立琵琶湖博物館), ホームページ(リニューアルに向けた検討を開始), 総会(12/16, 新宿, 代表選挙, 運営委員選出), 運営委員会(1回だけ琵琶湖博物館で,あとは国立科博分館で開催), その他:環境省「生物多様性国家戦略パブリックコメント」への回答, GBIFワークショップ21世紀の生物多様性研究の活動「生物多様性インフォマティクスを創出する2」の開催(12/10, 国立科学博物館新宿分館)の後援。

1-2. 2007年度会計決算報告, 監査報告(山田):報告の後, 承認される。

2-1. 2008年度事業(経過報告):講演会(11/15, 千葉県立中央博物館, ロレックスインスティテュートから助成)(齊木), 博物館部会(特に活動はなし)(齊木), ホームページ(デザインのリニューアルやコンテンツの追加)(藤井:原田代理), 運営委員会(第1回, 5/15, 新宿分館;第2回, 10/23, 千葉中央博;第3回, 11/15, 千葉中央博;来年1回開催を予定)(原田), その他:「大阪府の博物館施設見直

しに対する要望書を大阪府へ提出(西田), 大阪府のホームページの『大阪維新』プログラム(案)に対する意見・提言(パブリックコメント)の募集について》に意見を提出した(7/14), 後援等:生物多様性JAPAN「COPI0に向けて公開シンポジウム“生物多様性を考える”」(6/28, 神戸;7/5, 名古屋)に対する協力, 東京大学自然科学博物館「進化学の世界—ダーウィンから最先端の研究まで」展(7/19～9/23)に対する後援, GBIF日本ノード委員会[ワークショップ21世紀の生物多様性研究「環境・生物多様性関連の大規模情報ネットワークの構築と利用」](12/8, 上野)に対する後援(原田), 学術会議会員・連携会員の調査(西田), 生態学研究センターの拠点認定についての要望書(西田), 国立科学博物館との連携(西田・野村), ロレックス賞の周知(原田), その他:植物地理分類学会の脱会(現在37団体)(原田)。

2-2. 2008年度会計(経過報告)(山田):報告の後, 承認される。

3-1. 2009年度事業計画:講演会(石川県立自然史資料館・石川県自然史センター), 博物館部会(学芸員が文献を入手するのが困難な状況にあり, 学芸員の研究に係わるこのような問題を取り上げて議論していく)(齊木), ホームページ(原田), 2010年度役員改選, その他:藤原ナチュラルヒストリー財団など, 外部団体と積極的に関わっていきたい。

3-2. 2009年度予算案(山田):予算案の説明の後, 承認される。

4. 日本分類学会連合

日本分類学会連合第8回総会および第8回シンポジウムが, 2009年1月10日に国立科学博物館新宿分館で開催された。

<報告事項>

(1) 庶務(本川):日本甲殻類学会が脱退し, 現在の加盟団体は26団体である。この一年の主な活動;2008年;第7回総会の開催(1/12), 第7回シンポジウム「動物界高次分類群の系統と分類—発生から分子へ」の開催(1/12), 加盟団体にシンポジウムに関するアンケートを実施(3/31), 第19回役員会を開催(4/10), 「橋下大阪府知事の文化施設廃止計画に対する要望書」を提出(4/21), 「大阪維新」プログラム(案)に対する意見・提言(パブリックコメント)を提出(7/14), 「進化学の世界—ダーウィンから最先端の研究まで」展を後援(7/19～9/23), 一般公開講演会「最近の植物科学の進展:植物とは?あらためて考えてみよう」を開催(9/20), ワorkshop21世紀の生物多様性研究「環境・生物多様性関連の大規模情報ネットワークの構築と利用」を後援(12/8), 京都大学生態学研究センターへの要望書の提出(12/19), 2009年;第20回役員会を開催(1/9)。(2) ニュースレター(柁原;本川代理):第13・14合併号を発行

(11/18)。(3) ホームページ (佐々木) : 第8回公開シンポジウム要旨, ニュースレターなどを掲載。(4) タイプ標本データベース (海老原) : データベースの拡充を継続中。証拠標本データベースへの拡大を検討中。(5) メーリングリスト (本川) : 会員数は864名。1年間に31名増加。(6) 国際動物命名規約日本語版 (友国) : 26部を頒布。

<審議事項>

(1) 監査員の改選: 次期監査員を後藤哲雄氏 (茨城大学, 日本ダニ学会), 細矢剛氏 (国立科学博物館, 日本菌学会) に依頼する案が承認された。(2) 広報出版委員会の設置: ホームページ, ニュースレター, データベース, 出版, メーリングリストなどに関わる事業を行う広報出版委員会を佐々木 (委員長), 柁原, 海老原, 友国, 三中氏を委員として設置することが諮られ, 承認された。(3) 2008年度決算・会計監査報告: 分担金支払い状況 (川田), 決算案 (一般会計, 特別会計) (川田, 友国) の説明, 会計監査報告があり, 承認された。(4) 2009年度事業計画: 以下の事業計画について説明があり, 承認された: 第8回公開シンポジウムの開催 (2009年1月10日, 「分類学におけるDNA情報の活用」),

第9回公開シンポジウムの開催, ニュースレター15号, 16号の発行, ホームページ, データベースの充実。(5) 2009年度予算: 予算案 (一般会計, 特別会計) について説明があり (川田), 承認された。2009年度の分担金は, 10,000円となった。(6) 国際動物命名規約修正案と意見募集について諮られ, 承認された。(7) 連合の今後の運営方針について説明があり, 総会ではこれまで通り各学会の長が参加することが確認された。

[シンポジウム]

分類学におけるDNA情報の活用

(1) 「ミトコンドリアゲノム全長配列を用いた魚類の大系統解析と分類への応用」宮正樹 (千葉県立中央博物館), (2) 「DNA塩基配列情報を活用した生物学的種の認識〜シダとキノコを例にあげて」村上哲明 (首都大学東京), (3) 「分類学におけるDNAバーコードの利用法」吉武啓 (農業環境研究所), (4) 「分類学における情報基盤システム」神保宇嗣 (東京大学大学院総合文化研究科)

学会・シンポジウム情報

2009年3月12日 (木) ~ 15日 (日)

日本植物分類学会第8回大会 (宮城県民会館, 東北大, 仙台)
[http://www.soc.nii.ac.jp/cgi-bin/jsps/wiki/wiki.cgi]

2009年3月26日 (木) ~ 29日 (日)

日本藻類学会第33回大会 (琉球大, 那覇) [本誌大会プログラム]

2009年3月27日 (金) ~ 31日 (火)

平成21年度日本水産学会春季大会 (東京海洋大, 東京)
[http://secure1.gakkai-web.net/gakkai/jsfs/kaikoku/index.html]

2009年5月30日 (土) ~ 31日 (日)

第12回マリンバイオテクノロジー学会大会 (早稲田大, 東京)
[http://www.waseda.jp/assoc-marine/]

2009年7月1日 (水) ~ 5日 (日)

International Fossil Algae Association 6th Regional Symposium (University of Milano-Bicocca, Milan, Italy)
[http://www.geo.unimib.it/ifaa/]

2009年7月4日 (土) ~ 5日 (日)

日本進化原生生物研究会 (宮城教育大, 仙台)
[http://square.umin.ac.jp/jsep/]

2009年7月18日 (土) ~ 22日 (水)

2009 Phycological Society of America Annual Meeting with American Society of Plant Biologists (University of Hawaii, Hawaii State, USA)
[http://www.psaalgae.org/ops/meetings.shtm]

2009年8月2日 (日) ~ 8日 (土)

9th International Phycological Congress (国立オリンピック記念青少年総合センター, 東京)
[http://www.ec-inc.co.jp/ipc9/index.html] [次頁参照]

2009年8月23日 (日) ~ 28日 (金)

XIIIth International Congress of Protistology (Búzios, Rio de Janeiro State, Brazil)
[http://www.sbpz.org.br/static/xiiiibr/index.html]

2009年10月30日 (金) ~ 11月1日 (日)

第42回日本原生動物学会大会 (石巻専修大, 石巻)
[http://www.soc.nii.ac.jp/jsproto/index.html]

お知らせ

英文誌 Phycological Research
掲載論文の和文要旨は, 次号に
英文誌56巻3・4号分を掲載しま
す。(編)

